

「アート」の意味を辞書でひくと、「芸術、美術」の意味のほかに、「技法」、「人為、作為」などの意味があります。つまりアートって、人のすること。アートの領域をひろげ、生活の中にあるもっといろいろ知りたいことを学ぶための学び舎、それが「あざみ野カレッジ」です。

横浜に暮らした弥生人

～大塚遺跡に立って考えてみよう!～

共催 横浜市歴史博物館

6月22日(土) 10:00-12:00

今から50年近く前に発掘調査が行われた大塚遺跡・歳勝土遺跡は、横浜市・都筑区に位置します。弥生時代中期後葉の環濠集落と墓地在一体的に発見され、集落の様相が明らかな遺跡として国史跡に指定されています。ここを生活の場としていた弥生人は、どんな暮らしをしていたのでしょうか。当時を復元した大塚・歳勝土遺跡公園とその資料を展示する横浜市歴史博物館を訪ね、これまでの調査・研究から判明したことをうかがい、横浜に暮らした弥生時代の人々について多角的に探ります。

講師 橋口 豊(横浜市歴史博物館 学芸員)

会場 横浜市歴史博物館、大塚・歳勝土遺跡公園(横浜市都筑区中川中央1-18-1) ※現地集合・現地解散

対象・定員 高校生以上 40名(申込み先着順)

申込締切 6月12日(水) 必着

参加費 500円

※本講座に関して、会場(横浜市歴史博物館)へのお問い合わせはご遠慮ください。



映像と写真でふれるサハリンの先住民

7月7日(日) 14:00-16:00

北海道の北方に連なり、ロシア連邦の東端に位置する「サハリン」。この私たちの生活から距離があるように思われる島では、どのような生活が営まれ、文化が培われてきたのでしょうか。7月の講座では、サハリンを含め多くの地域でフィールドワークを続けられている金子遊さんをお招きします。サハリンから北海道、東北にまたがる地域での先住民族の生活や文化について、実地での活動や写真・映像を交えてお話しいただき、土地と生活・文化の関係性について探ります。暑い真夏の7月に、遠いようで近いサハリンへ、映像と写真による旅に出かけませんか?

講師 金子 遊(映像作家、多摩美術大学准教授)

会場 横浜市民ギャラリーあざみ野 3F アトリエ

対象・定員 高校生以上 40名程度(申込み先着順)

参加費 500円



ロシア人とウィルタ人の少年、サハリンのボロナイスクにて撮影=金子遊

現代美術 探求ラボ

vol. 6

いま「限界芸術」を再考する

8月31日(土) 14:00-16:00

過去から連綿と続く「何が芸術で、何が芸術ではないのか」という問いへの関心は、「芸術」への注目が集まる昨今、益々高まっているのではないのでしょうか。50年程前に、故・鶴見俊輔が、芸術と生活の双方が重なり合う芸術概念として確立した「限界芸術」。鶴見の「限界芸術論」では、落書きや盆踊り、絵馬などがその対象として挙げられました。この「限界芸術」を現代のアートシーンにおいて再定義し、展示会の企画や著書で概念や具体例に関し語られている福住廉さんを講師に迎え、いま芸術に向けられるまなざしについて「限界芸術」を起点に再考していきます。

講師 福住 廉(美術評論家)

会場 横浜市民ギャラリーあざみ野 3F アトリエ

対象・定員 高校生以上 40名程度(申込み先着順)

参加費 500円



越後妻有大地の芸術祭「今日の限界芸術百選展」会場風景(2015年)

講師紹介



橋口 豊 (はしぐち ゆたか)

横浜市歴史博物館・考古専門の学芸員。

【横浜市歴史博物館 概要】

原始から開港期までを中心とする約3万年の市域の歴史を扱う博物館として、1995年1月に開館。「横浜に生きた人々の生活の歴史」を運営の基本理念とし、それに則した調査研究、展示、情報提供、市民参加の講座・体験学習などを実施している。また、隣接地には、大塚・歳勝土遺跡を復元整備した「大塚・歳勝土遺跡公園」があり、博物館の野外施設として館内の展示などと連携した活用を進めている。

—横浜に暮らした弥生人〜大塚遺跡に立って考えてみよう!〜



金子 遊 (かねこ ゆう)

映像作家・批評家。多摩美術大学准教授。

サハリン、東南アジア、西アフリカでフィールドワークを続けている。2017年に著書『映像の境域』(森話社、2017年)でサントリー学芸賞〈芸術・文学部門〉受賞。ほかの著書に『辺境のフォークロア』(2015年、河出書房新社)『ドキュメンタリー映画論』(2017年、論創社)『混血列島論』(2018年、フィルムアート社)など。共著に『映画で旅するイスラーム』(2018年、論創社)ほか多数執筆。

映像と写真でふれるサハリンの先住民



福住 廉 (ふくずみ れん)

美術批評家。

2003年、美術出版社主催第12回芸術評論で佳作受賞。著書に『今日の限界芸術』(2008年、BankART1929)、共著に『日本美術全集第19巻拡張する戦後美術』(2015年、小学館)ほか多数。展覧会として『21世紀の限界芸術論』(2005年〜2011年、ギャラリーマキ)、『今日の限界芸術百選』(2015年、まつだい「農舞台」ギャラリー)など多数企画。現在東京芸術大学大学院、女子美術大学、多摩美術大学、横浜市立大学非常勤講師。さらに、BankART school や 3331 Arts ChiyodaのARTS PROJECT SCHOOLなど、社会教育の現場でも講師を務めている。

現代美術探究ラボ vol.6 いま「限界芸術」を再考する

講座の申込方法

申込みは「①ホームページの申込みフォーム」「②直接来館」「③電話(6/22開催講座を除く)」で受け付けます。ご参加は原則申込み先着順です。各講座で定員に達し次第(6/22開催講座は6/12申込締切日)募集を締め切ります。

- ①ホームページ: 当館ホームページの申込みフォームからお申し込みください。
- ②直接来館: 2階事務室で直接お申込みいただけます。
- ③電話: 045-910-5656にご連絡ください。

※②③の受付は時間は9:00〜20:00。ただし、休館日(毎月第4月曜日、年末年始)は受付不可。

- ・6/22開催講座にお申込みされた方には、6月中旬頃に会場についてのご案内をお送りします。開催日1週間前を過ぎても連絡がない場合はお問い合わせください。(定員に満たない場合は、追加募集を行なう場合がございます。締切日以降に参加をご希望される方は、ホームページをご確認いただくか、横浜市民ギャラリーあざみ野までお問い合わせください。)
- ・応募者数が実施可能な人数に満たない場合は、講座を中止させていただく場合がございます。
- ・応募の際に提供された個人情報は、あざみ野カレッジのみで利用し、その他の目的で利用することはありません。

あざみ野カレッジの生徒になるには

初回受講時に「あざみ野カレッジ学生証」を発行いたします。(発行無料、当日お渡しする申込書によるお手続きが必要)

あざみ野カレッジ学生証の特典

- 1 横浜市民ギャラリーあざみ野 有料企画展は入場無料に
(横浜市民ギャラリーあざみ野主催事業に限る)
- 2 あざみ野カレッジ講座メールマガジンの受信
- 3 横浜美術館内「Café小倉山」全メニュー10%割引
- 4 大佛次郎記念館入場料が割引に(一般200円→150円)
- 5 横浜美術館 企画展観覧が100円割引に

※特典のご利用時には学生証のご提示が必要です。(「2」を除く)

※「あざみ野カレッジ」は学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。横浜市民ギャラリーあざみ野が生涯学習を推進する目的で行う事業です。

※この事業は、東京・渋谷を舞台に様々な授業が行われている、シブヤ大学を参考にしています。http://www.shibuya-univ.net/

※中学生以下の方で、ぜひ受講したいという場合はご相談ください。飛び級入学資格があると認められる場合は入学を許可します。

保育アリ



お子さんをあずけて、安心して講座に参加できます

あざみ野カレッジにご参加の方は、講座時間中に主催事業保育料金にて1階の保育室をご利用いただけます。

※6/22開催講座を除く

対象年齢: 1歳6カ月〜未就学児

(2カ月〜1歳5カ月の保育についてはご相談ください。)

詳細はアートフォーラムあざみ野 子どもの部屋
TEL:045-910-5724 までお問い合わせください。

アクセス・問合せ

横浜市民ギャラリーあざみ野
(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3
アートフォーラムあざみ野 内

TEL 045-910-5656 / FAX 045-910-5674

E-mail: info@artazamino.jp

http://artazamino.jp/

[交通のご案内]

横浜市営地下鉄「あざみ野」駅1・2番出口 徒歩5分 / 東急田園都市線「あざみ野」駅東口 徒歩5分
駐車場は予約制(有料)です。 駐車場予約専用TEL: 045-914-5910

